

# 研究実施のお知らせ

2024年1月11日 ver.1.1

## 研究課題名

高齢者大腸がん患者における術後補助化学療法の有効性・安全性  
単施設後方視的観察研究

## 研究の対象となる方

2015年1月から2023年12月の間に島根大学医学部附属病院で結腸癌・直腸癌と診断され、切除術を受けられた70歳以上の患者さん

## 研究の目的・意義

術後補助化学療法は、大腸がんや胃がんの治癒切除が行われた患者さんに対して、術後再発を抑制し予後を改善する目的で実施されます。

本邦の「大腸癌治療ガイドライン」や「高齢者に対するがん薬物療法ガイドライン」では、70歳以上の高齢者においても体力が許す範囲で、術後補助化学療法の導入を推奨しています。一方で、一般的に高齢の患者さんは、心臓や肝臓、腎臓などの重要な臓器の機能が低下しているため、治療効果の低下や副作用の増加が報告されています。

そのため、高齢患者さんに対して術後補助化学療法を適切に行うためには具体的な適応基準や使用する抗がん剤の種類に関する情報が必要です。しかし、定まった治療基準はなく、年々高齢化が進んでいることから、適切な治療基準の探求が必要です。

今回、当院で大腸癌に対する手術を受けられた高齢患者さんを対象に、術後補助化学療法の効果および副作用の発現頻度などをしらべ、今後の治療介入の判断の一助につなげることが目的です。

## 研究の方法

研究対象者である患者さんの診療記録から、年齢、性別、身長や体重などの身体情報や術後補助化学療法中の血液検査や画像検査の情報を抽出します。その後、術後補助化学療法の治療効果を統計学的に検討します。

本研究で用いた、個人情報に関する情報は個人を識別できない状態にして取り扱います。研究対象である患者さんの識別は登録番号によって行い、収集データは、島根大学医学部 消化器・総合外科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限し、外部への持ち出しは行ないません。

## 研究の期間

2024年2月29日～2026年12月

## 研究組織

この研究は島根大学医学部消化器・総合外科学講座が行います。／この研究は次の機関が参加して行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座 谷浦 隆仁

参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院消化器・総合外科

[研究責任者]

谷浦 隆仁

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年1月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座／附属病院消化器外科 谷浦隆仁

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229